

第41回　「MCP: Advanced Topics」
Anthropic 公式 Claude Academy

Claude Code

AIの呼び出しを任せる

公式の教材を、順番に

原石工房
隠れた才能に気づき、花開く

この資料について

原石工房

Anthropic とは関係のない、非公式の資料です

公式の学習サイト Claude Academy の日本語訳です

原文（英語）MCP: Advanced Topics ／ Sampling

原文は、決まりごとの2026年7月28日の改訂より前の MCP を教えています

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

全51回の、今日はここ

原石工房

Claude Code 101 — 第1回〜第12回

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

Claude Code in Action — 第13回〜第21回

13 14 15 16 17 18 19 20 21

スキル — 第22回〜第27回

22 23 24 25 26 27

手分け（subagents） — 第28回〜第31回

28 29 30 31

MCP 入門 — 第32回〜第40回

32 33 34 35 36 37 38 39 40

MCP 応用 — 第41回〜第51回

41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51

今日はここ　第41回

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

今日のレッスン

原石工房

MCP: Advanced Topics の第1回

原題　Sampling

訳　AIの呼び出しを任せる

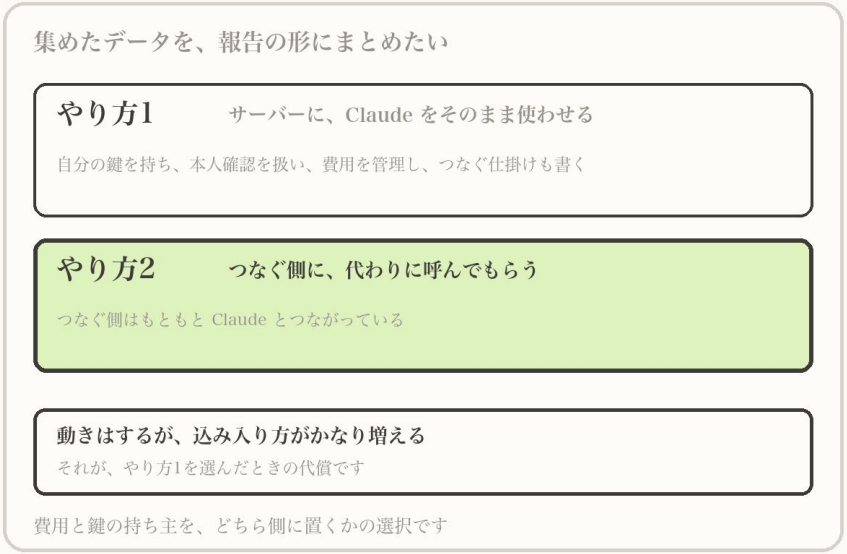
サーバーが、つなぐ側を通して Claude を使う仕組みです

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

① サンプリングが解く困りごと

原石工房

原題 The Problem Sampling Solves



サーバーが払うのか、つなぐ側が払うのか

やり方1　サーバーに、Claude をそのまま使わせる

**　自分の鍵を持ち、本人確認を扱い、費用を管理することになります**

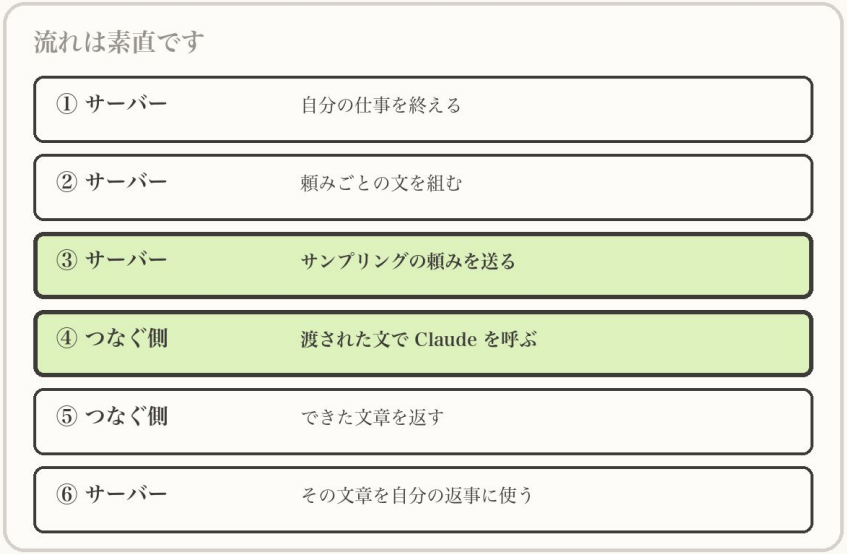
やり方2　つなぐ側に、代わりに呼んでもらう

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

② 流れは、6つの段

原石工房

原題 How Sampling Works



行って、戻る。第33回で見た形と同じです

頼んで、呼んでもらって、受け取る

サーバーが仕事を終え、頼みごとの文を組みます

つなぐ側が、その文で Claude を呼びます

できた文章が戻り、サーバーが自分の返事に使います

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／ https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

③ 良いところは、4つ

原石工房

原題 Benefits of Sampling



サーバーは、言葉のモデルと直につなぐ必要がありません

費用を払うのは、サーバーではなくつなぐ側です

公開するサーバーを作るときに、いちばん効きます

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

④ 作るのは、両側

原石工房

原題 Implementation

サーバー側　道具の働きの中で create_message を呼びます

つなぐ側　頼みを受け取る呼び戻しの働きを1つ作ります

やりとりを始めるときに、その呼び戻しを渡します

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　改訂で、非推奨になりました

原石工房

ここから先は原文にありません



もう使えない、ではありません

サンプリング・記録・ルーツの3つが、その対象です

新しく作るものには入れない。ただし最低12か月は動きます

乗り換え先は、AIの提供元のAPIに直につなぐことです

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　声をかける向きが、逆になった

原石工房

これまで（サンプリング）

サーバー →「Claude を呼んで」

つなぐ側が呼んで、結果を返す

サーバーが、やりとりの続きを覚えている

改訂のあと（MRTR）

サーバー →「入力が足りません」

つなぐ側が、添えてもう一度送る

1回ごとに、それだけで完結する

サーバーから声をかける形が、ぜんぶ逆になりました

やりとりの通し番号と、最初の挨拶が無くなったからです

土台が変わったので、その上に載っていたものが落ちました

声をかける向きが、逆になった

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

※ 補足　では、なぜ順番に読むのか

原石工房

世の中の MCP サーバーには、まだこの仕組みが入っているからです

なぜ変わったのかが分かると、新しい形の意味が分かります

公式の教材でも、改訂には追いつかないことがあります

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

今回のまとめ

原石工房

サンプリングは、つなぐ側を通してAIを使う仕組み

流れは6つの段。費用と鍵の持ち主が、つなぐ側へ移ります

改訂で非推奨。置き換えの新しい形は MRTR です

出どころ＝ Anthropic 公式 Claude Academy「MCP: Advanced Topics」／
https://academy.claude.com/courses/model-context-protocol-advanced-topics/sampling ／ 非公式の日本語訳

その費用は、どちらが持ちますか



原石工房

隠れた才能に気づき、花開く